

近年の気候変動による災害激甚化を踏まえ、河川事業に加えて、流域の関係者（行政、住民、企業等）が協力して治水に取り組んでいます

流域治水の取組 ～雨水貯留の取組拡大に向けて～

流域治水(りゅういきちすい)とは、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、集水域(雨水が河川に流入する地域)から氾濫域(河川等の氾濫等により浸水が想定される地域)にわたる流域に関わる関係者が協働して水災害対策を行うもの。



流域治水のイメージ図(国土交通省HP)

目的

- ①雨水を貯留することで河川の氾濫を遅らせ、避難する時間を少しでも稼ぐ
- ②防災意識の向上を図り、住民の確実な避難行動に結びつける

鳥取県では、流域治水の取組の一つとして、公共施設での雨水貯留タンクの試行設置を進めています。地域の皆様に治水上の役割と水やりなど日頃の使い方を知っていただくことで、タンクの普及を目指しています。

期待される効果

- ①貯留タンクを実際に見て利用することで、**貯留タンクの普及**を目指す
- ②簡易水位計の上昇スピードを「**避難スイッチ**」に活用する
- ③災害による断水時の**防災用水**に活用する
- ④公共施設への設置により**防災学習**に活用する(防災に関する会話の機会を増やす)
- ⑤「花壇の水やり」「掃除」等の**生活用水**に利用する

モデル地区(大路川流域)での取組を周知するため、「大路川流域治水ビジョン」を策定しました！是非、ご覧ください。



(大路川流域治水HP)



(ビジョンの紹介HP)



水資源の有効利用に関すること
鳥取県 生活環境部 自然共生社会局 水環境保全課
TEL 0857-26-7197

流域治水に関すること
鳥取県 県土整備部 河川港湾局 河川課
TEL 0857-26-7386

雨水の利用事例集

～雨水を使ってみませんか？～



令和7年3月
鳥取県